

第2号様式の2（第3条第2項関係）

創業計画書

（あて先）日野市長

令和 7 年 4 月 1 日

（申込者） 住 所 日野市神明 1-1-1
名 称 神明エクステリア工業
代 表 者 神明 太郎

創業計画添付書参照

融資対象の区分 (融資実行の時点)	創業前 ・ 創業後				
創業形態	個人・法人	屋号・法人名			
創業の住所					
創業年月日	年 月 日	電 話			
事業開始届出書の有無	有・無	資 本 金	円	従 業 員 数	人
他の事業との兼務状況	申込時において、他の事業を営んで（いる・いない）				

1 事業内容や創業動機

業 種	建設業
事業内容・創業目的、動機・創業する事業の経験・強み、セールスポイント、その他補足説明 外構・エクステリア工事に 10 年間従事した経験を活かし、以前からの目標だった開業を実現。 前職での実績と取引先との関係性により、独立後の受注にめどが立った。 開業から 2 か月が経過し、すでに数件の工事を受注・施工済み。 提案力と現場対応力が強み。 月商は約 300 万円を想定し、初年度は年間 400 万円の利益を目標としている。	

2 事業の着手状況（次のア～キまでのうち該当するものに○印を付し、確認できる書類等を添付してください。）

- ア 機械器具・什器備品等を発注済みである。 ☒ オ 事業に必要な許認可等を受けている。
- イ 土地・店舗を買収するための頭金等を支払い済みである。 ☐ カ 事業に必要な許認可の申請が受理されている。
- ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金等を支払い済みである。 ☐ キ その他
- エ 商品・原材料等の仕入を行っている。 ☐

【 具体的内容： 】

3 販売先・仕入先

主な販売先・受注先	住 所	販売・受注予定額	回 収 方 法
株式会社〇〇	東京都八王子市〇〇町 1-1	年 10,600 千円	現金・売掛
個人宅	東京都多摩市〇〇町 1-1	年 4,400 千円	現金・売掛

主な仕入先・外注先	住 所	仕入・外注予定額	支 払 方 法
株式会社〇〇商店	東京都府中市〇〇町 1-1	年 4,000 千円	現金・買掛
株式会社〇〇工務店	東京都立川市〇〇町 1-1	年 2,500 千円	現金・買掛

4 創業時の投資計画とその調達方法や内容

創業時の投資計画		金額 (千円)		調達方法・内容	金額 (千円)
設備資金	事業用不動産取得・敷金・入居保証金	0	自己資金	預金	1,000
	改装費	0		預金以外	0
	機械器具・什器備品等	0			
	① 設備資金 計	0	借入金	本件借入金	4,400
運転資金	商品・原材料等の仕入資金	3,000		その他の借入金	0
	人件費・賃金等	2,000			
	その他の資金	400	その他	その他の資金	0
	② 運転資金 計	5,400			
合 計 (①+②)		5,400		合 計	5,400

※ 確定申告を終了している方は記入不要です。合計残高試算表又は確定申告書の写し（決算書）を添付してください。

5 損益計画（売上発生後 1 年分）

支出		収入	
項目	金額 (千円)	項目	金額 (千円)
②売上原価 (仕入額、製造原価等)	18,000	売上高	36,000
③ 販売管理費 経費	人件費	雑収入	0
	地代家賃		
	光熱費		
	営業費		
	減価償却費		
	支払利息		
	その他		
合計 ③			
営業利益 (①-②-③)			
合 計 ④		合 計 ①	36,000

①と④が一致すること。

6 自己資金額算定表（個人が新たに創業する場合のみ記入してください）

内 訳		備 考	金額（千円）
事業に充てるため用意した資産	普 通 預 金		0
	定 期 預 金		0
	有 価 証 券		0
	敷金・入居保証金		0
	資本金・出資金に充てる資金		1,000
	当該事業用設備		0
	その他資産（不動産を除く。）		0
	合 計 ①		1,000
借入金等	住 宅 ロ ー ン	年間返済額の2年分	0
	設備導入のための長期借入金	年間返済額の2年分	0
	その他長期借入金	借 入 金 全 額	0
	合 計 ②		0
自己資金額（①－②）			1,000

※ 自己資金額等については、保証協会において再計算されます。